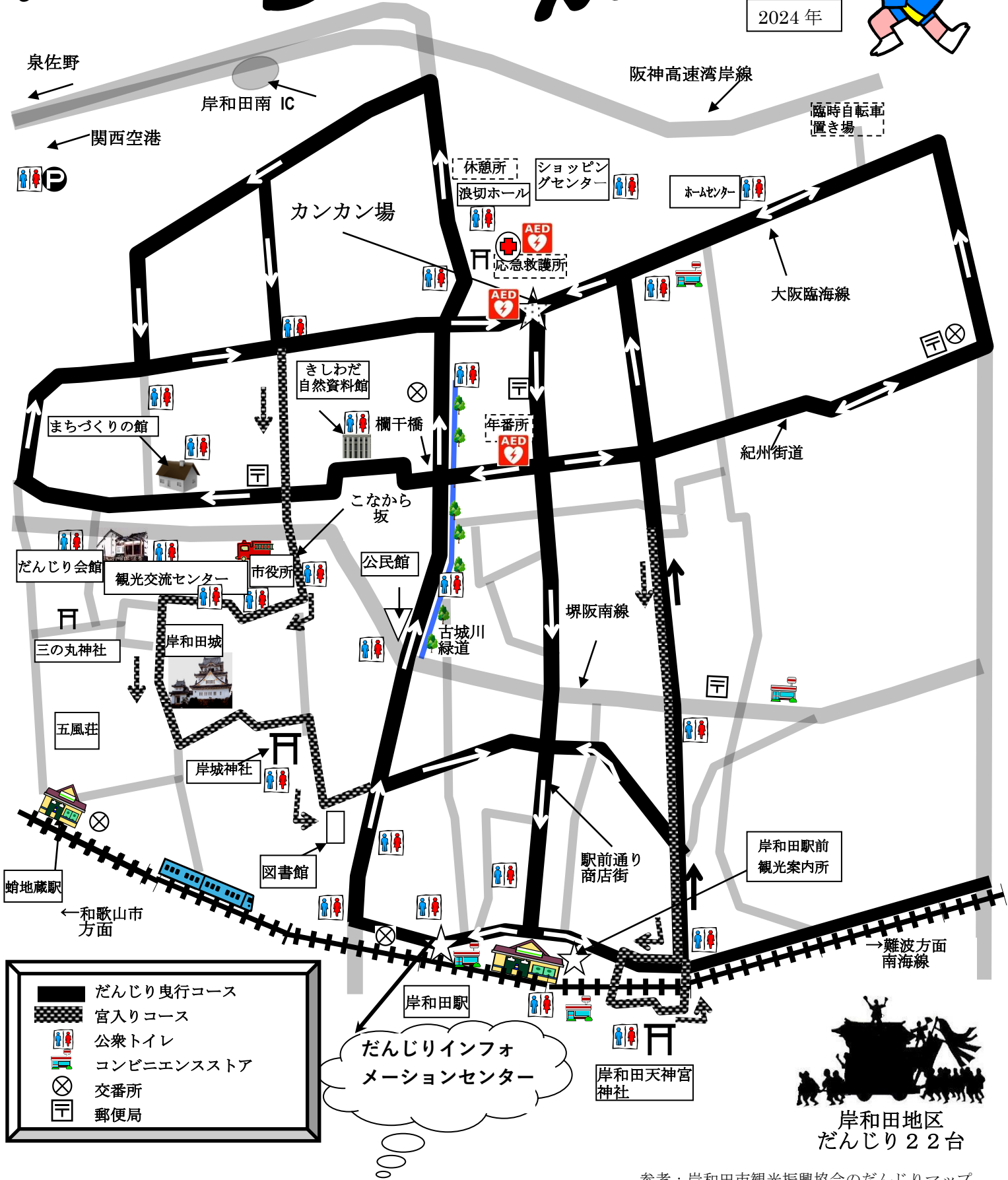


ifa-きしわだ Kishiwada Danjiri Map

やさしい
日本語版

2024年



- だんじり曳行コース
- 宮入りコース
- 公衆トイレ
- コンビニエンスストア
- 交番所
- 郵便局

だんじりインフォ
メーションセンター

岸和田地区
だんじり22台

参考：岸和田市観光振興協会のだんじりマップ

岸和田だんじり祭り

岸和田のだんじり祭りは1700年ころにはじまりました。城の殿様が岸和田城の中に五穀豊穡（米、麦、豆、あわ、ひえの5つの穀物がたくさんできること）をいぬるための神社をつくりました。人々は一年に二日間だけ城の中の神社におまいりすることができました。そのとき人々はだんじりを引いてお城の中に入り踊ったり歌ったりよろこびました。

だんじり祭りは毎年9月の三連休の土曜日と日曜日に行われます。22台のだんじりが城下町（城のある町）を速く走り回ります。

だんじり用語：

曳き出し：1日目の朝6時岸和田市役所のサイレンが鳴ります。すべてのだんじりが小屋から出発して町の通りを走ります。

やりまわし：走りながら交差点を勢いよく方向転換することです。前梃子と後梃子の息が合わないとうまくいけません。祭りで一番の見せ場です。

大工方：大屋根（1名）と小屋根（3名）に乗ります。うちわでだんじりが進む方向をおしえます。高さ4mの大屋根の上で踊ります。「飛行機乗り」という踊りは特に有名です。両手を広げて1本足で立ちます。

彫り物：だんじりの横の面にはたくさんの精巧な木の彫り物があります。日本のむかしの戦いの場面を表しています。

宮入り：2日目午前22台のだんじりが3つの神社に分かれてお参りします。

灯入れ曳行：夜200個の赤い提灯でだんじりを飾ります。こどもが主人公になってゆっくり歩きます。とても美しいです。

